

#### 【4. 持続的発展(課題解決)に寄与する市内事業者の取り組み事例】

##### 事例 1: 岩田精工株式会社の取り組み事例

八幡市内の製造業においては、**特定顧客・特定製品への依存度が高く、需要変動の影響を受けやすい経営構造**が課題として挙げられる。こうした課題に対し、市内事業者が主体的に経営改善と事業転換に取り組んでいる事例として、岩田精工株式会社の取組が挙げられる。

同社は、金型製作からプレス加工までを一貫して行う高精度金属加工事業者であるが、これまで売上の一定割合を占めていたリチウムイオンキャパシタ関連製品の需要減少により、**売上構成の見直しと新たな収益源の確保が急務**となっていた。この課題に対し、同社では「工程の内製化による生産性向上」と「既存技術を活かした新分野展開」を同時に進める方針を打ち出した。

具体的には、従来外注していた金型部品等への印字工程について、レーザーマーカを導入することで社内完結型の生産体制へ移行した。これにより、外注コストの削減や納期短縮を実現するとともに、品質管理の高度化を図っている。特に、微細加工技術と高精度印字を組み合わせることで、従来以上に付加価値の高い製品提供が可能となった点は、**生産性向上と競争力強化の両立**という観点から有効な取組といえる。

また、同社は展示会出展を契機に、美術館やデザイン関連分野からのプレート製作依頼を受けるなど、従来の工業用途にとどまらない新たな市場ニーズを把握した。これを受け、精密加工技術を活かした意匠性の高い製品開発に取り組み、「ものづくり×デザイン」という新たな事業領域への展開を進めている。これは、**既存技術の横展開による販路多角化**の好例であり、特定分野への依存から脱却するための有効な手法と評価できる。

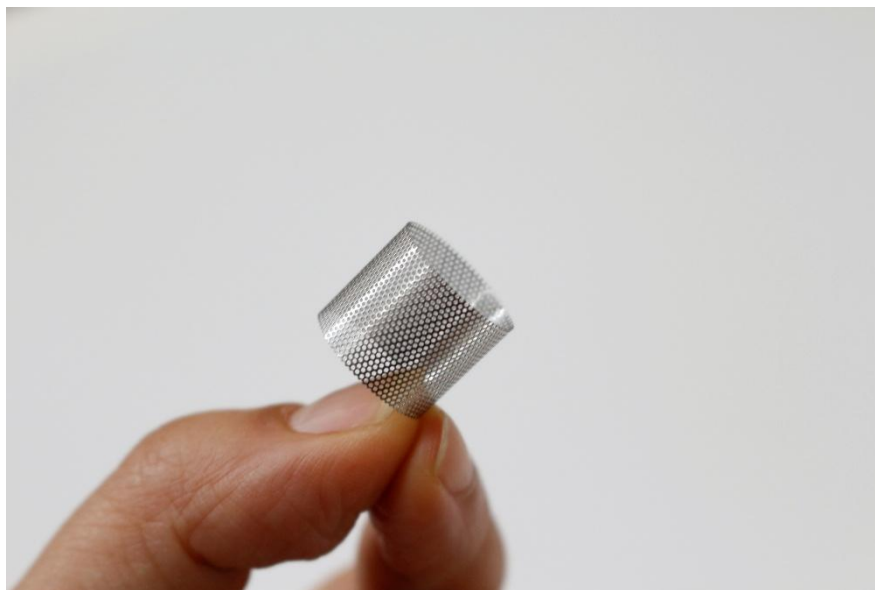
さらに、少人数体制を活かした迅速な意思決定と、工程改善・設備導入を組み合わせた段階的な経営改善により、短期的なコスト削減と中長期的な売上構成の多様化を同時に目指している点も特徴的である。こうした取組は、**人手不足や市場変化といった外部環境の変動に柔軟に対応できる経営体制の構築**につながっている。

以上のように、岩田精工株式会社の事例は、「特定顧客・特定製品依存」「生産性向上の必要性」「新分野展開の遅れ」といった市内製造業共通の課題に対し、**内製化・付加価値化・販路多角化を組み合わせ対応した実践的な解決事例**として位置づけることができ、今後の地域事業者支援施策を検討するうえで有用な参考事例である。

#### 【事業所 外観】 地域に根差した精密金属加工メーカー



【ストレーナー】 微細加工技術を活かした高精度部品



【分流器】 多様なニーズに対応する加工実績



【レーザーアトリエ作品】 加工技術を活かした新分野展開



【工場内設備・作業風景】

